

**アメリカからの観光誘客促進事業
公募型プロポーザル 質問票への回答**

- 1 仕様書「5 業務内容（1）海外レップの設置 ③現地メディアへの情報発信及び連絡調整」について、「SNS等も活用して効果的な情報発信に努めること」とありますが、富山県のアカウントの利用が可能なのでしょうか。それとも、提案者が用意するのでしょうか。

（回答）

本事業では、富山県が保有するSNSアカウントではなく、例えば各事業者が運用できるSNS等（既存のもの又は新設）の媒体を利用して情報発信に努めていただくことを想定しています。

- 2 仕様書「5 業務内容（4）業務の報告等」について、2ヶ月ごとのミーティングにはアメリカ側の参加も必要でしょうか。

（回答）

基本的には受託者の国内の担当者とのミーティングを想定しています。なお、必要に応じ、アメリカ側の関係者の参加を求める場合もあります。

- 3 実施要領「9 企画提案書の提出」について、企画提案書が最大 20 ページ以内とありますが、表紙・裏表紙は含めるのでしょうか、また、両面印刷で 20 ページ（紙の枚数的には 10 枚）なのか、紙の枚数が 20 枚（裏表印刷にした場合は最大 40 ページ）なのか、どちらの解釈になりますか。

（回答）

提案書の形式（表紙、裏表紙や片面印刷、両面印刷など）に関わりなく、企画提案に係る内容について、A4版で最大 20 ページ程度で、作成をお願いいたします。

なお、公募型プロポーザル実施要領記載のとおり、企画提案書は電子メールでの提出となります。

- 4 実施要領「10 審査（3）プレゼンテーションの実施」について、「審査にあたっては、参加者によるプレゼンテーション（対面又はオンライン）を実施する」とありますが、対面の場合でもオンラインで富山県外のオフィスより参加することは可能でしょうか。また、人数制限は設けられますか。

（回答）

参加者によるプレゼンテーションは対面又はオンラインを予定しており、方法につい

ては別途調整させていただきます。なお、参加人数については、プレゼンテーションのために必要な最低限の人数（数名程度）でお願いいたします。

5 本事業において、より注力したいターゲット層はアメリカ市場の高付加価値旅行者層（加えて富裕層）との理解で相違ないでしょうか。仕様書冒頭の「趣旨」には一文記載があったのですが、その他の点では触れられていなかったため確認させていただきたく存じます。

（回答）

仕様書「1 趣旨」記載のとおり、富山県では、欧米豪市場において高付加価値旅行者の誘客を促進することとしており、本事業においても主要なターゲットとなります。